

【設立の経緯・目的】

環境バイオテクノロジー学会は、20世紀末から今世紀にかけて出現してきた広範囲な環境問題に対処するために、国内の「環境」と「バイオテクノロジー」に関わる研究者と技術者が結集してつくられた学会です。1996年4月に前身となる環境バイオテクノロジー研究会が設立され、そして1999年7月に環境バイオテクノロジー学会が設立されました。

環境バイオテクノロジー学会の目的は、環境問題へのバイオテクノロジーの適用の基盤となる環境バイオサイエンスの学理構築に資すること、かつその学理を広く応用した人間社会に役立つ環境技術の確立に資することです。本学会では、自然の諸原理を理解しようとする科学本来の立場からの研究者・技術者の自由な発想と創造の意欲、そして人間社会の福祉の向上に貢献しようとする意欲を最も大切にして、学会としての活動と事業展開をおこなっています。

【おもな研究開発分野】

生物環境修復（バイオレメディエーション）、土壌・水質浄化、微生物利用、微生物分解、植物吸着、根圏浄化、環境微生物（一般環境／特殊環境）、生物間相互作用、植物-微生物共生、微生物群集構造、環境DNA、合成生物学、代謝工学、分子進化、バイオフィーム、バイオマス生産、バイオマス利用、エネルギー生産

【事業活動】

環境バイオテクノロジー学会誌出版、年次大会開催、シンポジウム開催・共催、表彰ほか

【会員数】 2023年度

正会員 179名、学生会員 86名、団体会員 5社（2024年度より6社）

【ホームページ】 <https://www.jseb.jp/>



【学会役員】 2023年度～

会長：森川正章、副会長：野尻秀昭、永田裕二

理事：跡見晴幸、池 道彦、井上謙吾、岩崎一弘、笠井大輔、簡 梅芳、木邑敏章、
栗栖 太、黒田章夫、高畑 陽、常田 聡、豊福雅典、野村暢彦、羽部 浩、
春田 伸、廣瀬 遵、二又裕之、本田孝祐、前田憲成、宮内啓介、諸星知広

監事：加藤純一、金原和秀

会員特典

- 年次大会で研究成果の発表ができ、参加費が安くなります
- 学会誌「環境バイオテクノロジー学会誌（J-STAGE 掲載・DOI 付与）」に投稿できます
- 各種表彰の被推薦資格が付与されます
- 学会誌・ニュースレターが届きます
- ご登録のメールアドレスに各種情報が届きます
- 学会 HP で情報を発信できます

入会方法

- 学会 HP の入会フォームにご記入の上、年会費を下記口座にお振り込みください
- 年会費 正会員 6,000円 学生会員 3,000円 団体会員 105,000円



【お振込口座】 郵便振替口座 00930-1-116256
ゆうちょ銀行 ○九九(ゼロキュウキュウ)店 当座 0116256
名義：環境バイオテクノロジー学会